

# 智頭急行株式会社 会社概況



# I 会社概要

1. 社名 智頭急行株式会社
2. 設立 1986(昭和61)年5月31日
3. 所在地 総務部：鳥取県八頭郡智頭町智頭2052-1 (電話) 0858-75-6600 (FAX) 0858-75-6601  
運輸部：鳥取県八頭郡智頭町智頭1862-2 (電話) 0858-75-2595 (FAX) 0858-75-2596  
大原事業所：岡山県美作市古町1550-2 (電話) 0868-78-0082 (FAX) 0868-78-0032
4. 資本金 資本金：4億5千万円
5. 代表 代表取締役社長 西尾浩一
6. 事業 旅客鉄道事業
  - (1) 営業区間 上郡駅（兵庫県上郡町）～大原駅（岡山県美作市）～智頭駅（鳥取県智頭町）
  - (2) 営業キロ 56.1km
  - (3) 停車場 駅；14駅（停留所 5駅含む）、信号場；1駅
  - (4) 社員数 88名（常勤役員2名、契約社員7名含む）

## 7. 取締役

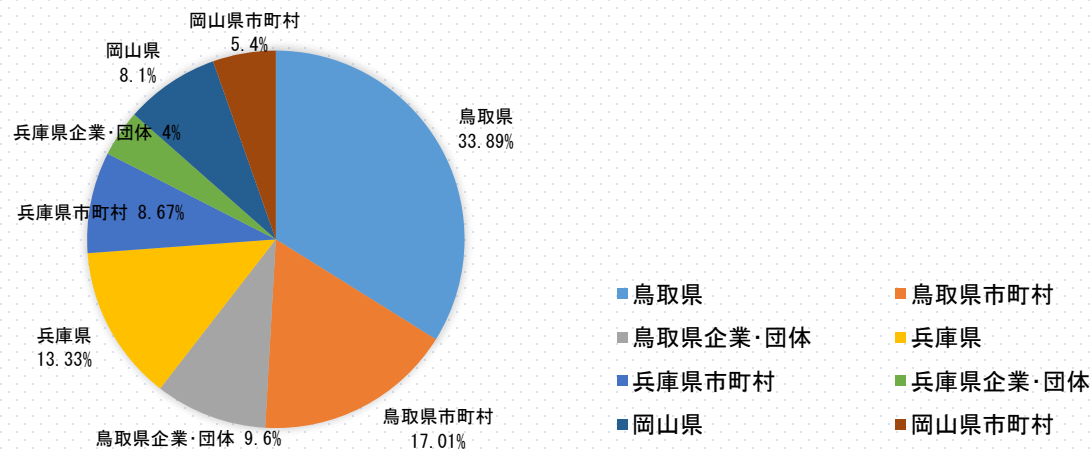
役職	
取締役会長	鳥取県知事
取締役副会長	兵庫県副知事 岡山県副知事
代表取締役社長	
代表取締役常務	
取締役	鳥取市長
	八頭町長
	智頭町長
	西粟倉村長
	美作市長
	佐用町長
	上郡町長
	(株)山陰合同銀行 特別顧問
	(株)鳥取銀行 取締役常務執行役員
神姫バス(株) 代表取締役専務取締役	
監査役	倉吉市長 姫路信用金庫 理事長

# I 会社概要

## 8. 沿革

年月	事項
1892(明治25)年	智頭線の鉄道建設運動が、鳥取～姫路間を結ぶ姫鳥線として始まる
1922(大正11)年4月	鉄道敷設法敷設予定線となる
1962(昭和37)年3月	鉄道建設審議会において、智頭～上郡間が智頭線として工事線に採択
1966(昭和41)年5月	工事実施計画認可（1966.6工事着手）
1979(昭和54)年12月	「日本国有鉄道の再建について」閣議了解され、工事中止が決定
1985(昭和60)年12月	智頭線建設促進期成同盟会において第三セクター方式による鉄道運営のための早期会社設立等について決議
1986(昭和61)年5月	智頭鉄道株式会社創立 5.31設立登記
1986(昭和61)年12月	地方鉄道業免許、工事施行認可
1987(昭和62)年2月	工事再開
1991(平成3)年11月	高規格化事業を決議（1992.2事業着手）
1993(平成5)年1月	地方鉄道整備促進資金借入制度の活用を決定
1994(平成6)年6月	会社名を智頭急行株式会社に変更
1994(平成6)年11月	工事完成検査・保安監査
1994(平成6)年12月3日	開業

## 9. 株主 45株主（自治体17団体、民間28団体）



# II 列車運行

## 1. 運行形態の推移

年月	事項
1994(平成6)年12月	開業 スーパーはくと3往復(新大阪～鳥取・倉吉)、臨時はくと1往復(新大阪～倉吉)、普通(上郡～大原17往復、大原～智頭12往復)
1996(平成8)年3月	全便京都駅発着化、スーパーはくと3往復、はくと2往復、臨時はくと1往復(京都～鳥取) 山陰線經由特急「あさしお」廃止
1997(平成9)年3月	スーパーはくと5往復、はくと1往復
1997(平成9)年8月	グリーン車4両導入
1997(平成9)年9月	全便スーパーはくと化(6往復)、いなば3往復(岡山～鳥取、智頭線經由) 因美線經由急行「砂丘」号廃止
2003(平成15)年10月	スーパーはくと7往復化、スーパーいなば5往復化
2010(平成22)年3月	スーパーいなば6往復化
2022(令和4)年3月	スーパーはくと6往復化(1往復臨時列車化)
2024(令和6)年3月	スーパーはくと8往復化

## 2. 運行区間及び列車本数等

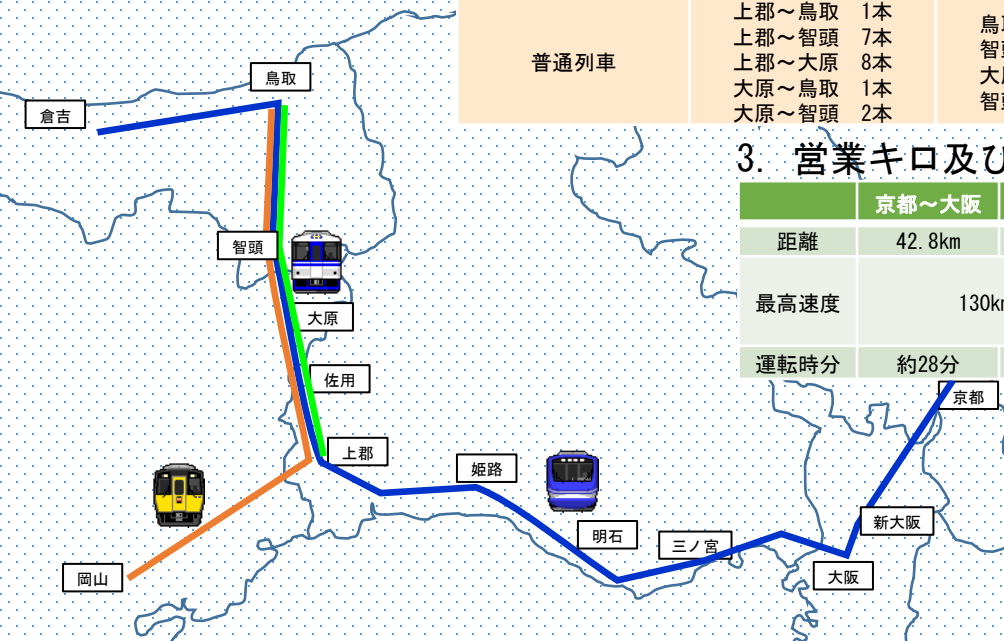
列車名	運行区間		車両形式及び編成	保有台数	付記
	下り	上り			
スーパーはくと	京都～倉吉 2本 大阪～倉吉 3本 大阪～鳥取 3本	倉吉～京都 1本 倉吉～大阪 5本 鳥取～京都 1本 鳥取～大阪 1本	HOT7000×5両	34両	検修：JR西鳥取
スーパーいなば	岡山～鳥取 6本	鳥取～岡山 6本	キハ187系×2両	8両(JR車両)	検修：JR西鳥取
普通列車	上郡～鳥取 1本 上郡～智頭 7本 上郡～大原 8本 大原～鳥取 1本 大原～智頭 2本	鳥取～上郡 2本 智頭～上郡 7本 大原～上郡 7本 智頭～大原 2本	HOT3500×1両※1 (因美線内は2両※2) ※1…便により2両あり ※2…便により1両あり	10両	検修：大原基地

## 3. 営業キロ及び運転時分

	京都～大阪	大阪～姫路	姫路～上郡	上郡～岡山	上郡～智頭	智頭～鳥取	鳥取～倉吉
距離	42.8km	87.9km	34.8km	53.8km	56.1km	31.9km	39.8km
最高速度	130km/h		120km/h		130km/h	95km/h (智頭～津ノ井) 110km/h (津ノ井～鳥取)	120km/h
運転時分	約28分	約55分	約22分	約36分	約37分	約28分	約30分

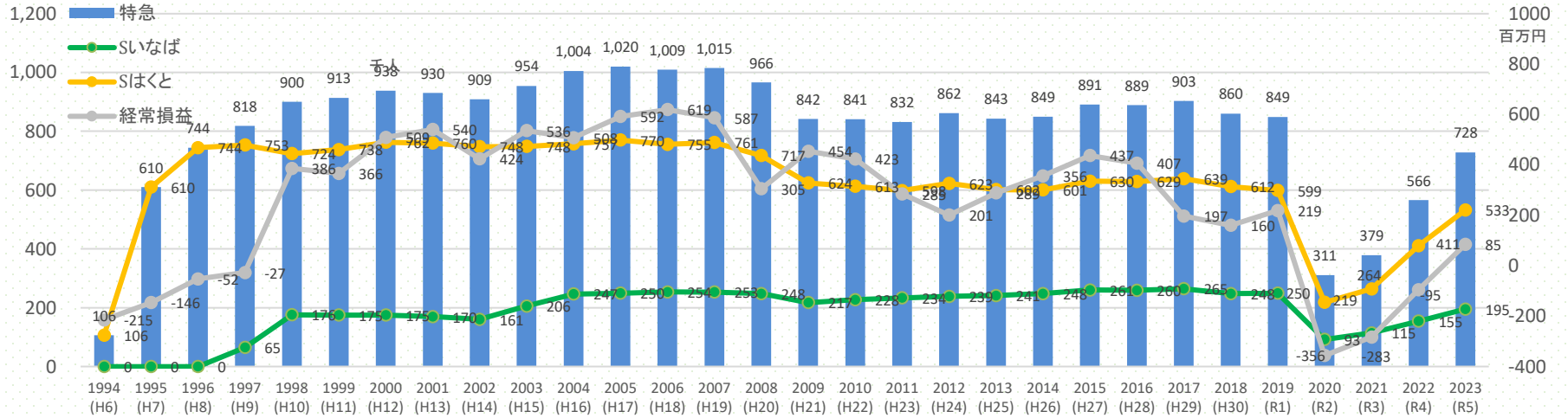
## 4. 1日当たりの列車キロ及び車両キロ

	列車キロ	車両キロ
スーパーはくと	3,980.2km	19,901.0km
普通列車	1,895.5km	2,273.2km

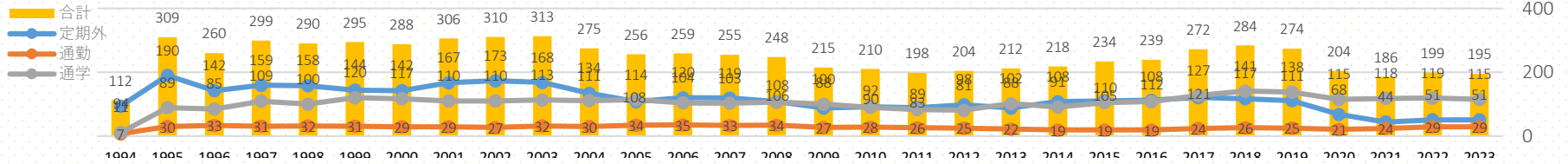


# Ⅲ 乗車人員、経常損益の推移

## 1. 特急列車の乗車人員及び経常損益の推移



## 2. 普通列車の乗車人員の推移



## 3. 沿線人口の推移 (2024(令和6)年3月31日現在)

	倉吉市	鳥取市	智頭町	西粟倉村	美作市	佐用町	上郡町	合計
面積	272.2km <sup>2</sup>	765.3km <sup>2</sup>	224.7km <sup>2</sup>	58.0km <sup>2</sup>	429.3km <sup>2</sup>	307.4km <sup>2</sup>	150.3km <sup>2</sup>	—
人口	43,878人	180,260人	6,189人	1,333人	25,235人	14,941人	13,786人	285,622人
市町村合併時 (H17.10) 人口	52,592人	201,740人	8,647人	1,684人	32,479人	21,012人	17,603人	335,757人

※合併時期 倉吉市：平成17年3月22日 鳥取市：平成16年11月1日 美作市：平成17年3月31日 佐用町：平成17年10月1日

# IV 沿線の地域交通



### 現状を踏まえれば、弊社がノウハウを持たない 二次交通に関与するのは、極めてハードルが高い

#### ○地域の現状

過疎化や車社会へ生活様式が変化したことによって、バス・タクシー事業者が撤退  
民間事業者で担えないところを、自治体がオンデマンドバス、コミュニティバス、  
乗り合いタクシーなどで支援する枠組みができていますが、弊社との連携は必ずしも  
充分ではない。

#### ○弊社が考える二次交通のあるべき姿

列車の発着に合わせて、バス・タクシー事業者などが行政の支援のもと  
お客様のニーズに沿ったメニューを提供  
ニーズに即したメニューになっているかを検証し、絶えず見直しを図る

⇒このような枠組みができるのであれば、そこに参画するのは  
やぶさかではない